

問 1.

(解答例) 217文字

薩摩川内市の藺牟田池と屋久島町の永田の浜がラムサール条約に登録されている。藺牟田池は火口湖で、浮島と岸辺の湿原が泥炭形成植物群落からなり、低層湿原として国の天然記念物にも指定されている。また、絶滅が危ぶまれているベッコウトンボの生息地でもある。屋久島の北西部に位置する永田の浜は「永田浜」と一括され、ラムサール条約に登録されている。永田の浜には、世界的に絶滅の危機にあるといわれるアカウミガメの上陸・産卵がみられる砂浜として知られる。

(永田の浜は、いなか浜、前浜、四ツ瀬浜の具体的な名前を使っても良い)

問 2.

(解答例) 240字

第10代藩主島津斉興の代におこった島津家の後継をめぐる騒動。正室の子である長男の島津斉彬と三田の町人の家に生まれたというお遊羅の子である久光、どちらを後継とするかをめぐり、藩内対立が起こったもの。斉彬擁立派へは厳しい弾圧が行われ、西郷隆盛の父、吉兵衛が仕えていた赤山鞆負らは切腹に追い込まれた。また、大久保利通は記録所書役助を免職、謹慎を命じられるなどの影響もあった。同騒動は、嘉永4年(1851年)に老中、阿部正弘の調停により斉興は隠居を余儀なくされ、ついに斉彬に家督を譲った。

問 3.

(解答例) 192字

沖永良部島である。ユリ、キク、グラジオラス、フリーズジャーなどの栽培が盛んであり花の島とも呼ばれる。同島で生まれた一色次郎は、幼時に父と死別、母とも離別し鹿児島市内の祖父宅で育った。17歳のときに書いた時代小説が鹿児島朝日新聞記者の目に留まり連載された。その後上京し、出版関係の仕事などを経て戦後、作家活動に入り、自伝的小説「青幻記」が第3回太宰治賞を受賞する。作品は後に映画化された。

問 4 .

(解答例) 180字

鹿児島県では、豊かで多様な地域資源を活かした観光業が早くから展開されてきた。近年では、九州新幹線の全線開業、鹿児島および奄美大島への格安航空会社(LCC)参入、鹿児島市の人工島マリンポートを中心とした大型のクルーズ船の受入など、陸海空の交通網の整備が進んだこともあり、年による増減はみられるものの、国内外の様々な都市圏・地域から、多くの観光客を受け入れている。

問 5 .

(解答例) 【1】

①大隅町 ②ゆず ③弥五郎どん祭り ④山中貞則 ⑤溝ノ口洞穴

(解答例) 【2】 215字

志布志市は大隅半島東部に位置し宮崎県と隣接している。市の南側は志布志湾に面しており、南九州地域向けの飼料輸入を主体とする物流拠点となっている。

志布志湾は、昭和46年(1971年)の「新大隅開発計画」で、沿岸の一部を埋め立て、工業地帯を建設しようとしたが、地元の反対運動で大幅に規模縮小し、実際には志布志港や飼料コンビナート、大規模畜産基地のみの整備にとどまった。昭和44年(1969年)に重要港湾に、平成8年(1996年)には九州で唯一の中核国際港湾に位置づけられている。